

月刊

# ひでかし



10

2017

9月23日に府中市市民活動センタープラッツ・バルトホールにて「祝！生誕25年祭公演」が行われました。『その日が来るまで』のBGMが終わり「その日が来ました！生誕25年祭最後まで楽しんでください！」との美香ちゃんの影MCでスタート。『生誕祭の歌』を6代目リーダーの吉田梢ちゃんのボーカルで開演。杏里ちゃんから、「1曲目を彩るのにふさわしい曲」と紹介。「1992年にグループが結成してスタートした時に、誰が25年祭を予測したのでしょうか？」と杏里ちゃん。「メンバーチェンジを何度も何度も繰り返して今の制服向上委員会が存在していて、たくさんの先輩方が駆けつけてくれた」ということで、メンバー全員登場します。参加メンバーは齋藤乃愛(18期生)、齋藤優里彩(18期生)、小川杏奈(13期生)、佐藤帆奈美(11期生)、片平妃奈子(7期生)、吉田梢(6期生)、レイ(22期生)、野見山杏里(20期生)、橋本美香(3期生)、星川りりか(7期生)、松尾真冬(8期生)、清水花梨(13期生)、齋藤美輝(16期生)、森朱里(17期生)の14人です。(美香・りりか・妃奈子・真冬の4人を除いて全員制服姿でした)。SKiの活動を振り返って、初期は「清く正しく美しく」、次は「ライブとボランティア」、そしてSKiファミリーとしてユニットやソロの活動を経て、原発事故が起きた2011年からは全国の集会などに参加し、私たちにとっても象徴的なものになったと『原発さえなければ』を美香ちゃんが披露しました。そして2017年のSKiの活動のテーマとして訴えていきたいと『ふざけるな！ヨッパライ運転』を杏里ちゃんが堂々と披露。飲酒運転による事故が繰り返されていて許せないと思うと熱く語っていました。次はメンバーの間でもお客さんの間でも人気の曲『さよならへの旅立ち』を齋藤美輝ちゃんが熱唱します。「THE DUET コーナー」では約9年ぶりに初代THE DUETが復活し、『恋のバカンス』『声を聴いて』を披露します。ブランクを感じさせない息のあった二人の歌声に大きな拍手が湧きます。今日初めて「THE DUET」が生で歌っている姿を見てかっこいいと思ったと杏里ちゃん。OGの先輩たちの歌を生で聴けるのは貴重な経験で、こういうかたちで生誕祭を送れて良かったと思う反面、メンバーが2人しかいない現状があり、こうして生誕25年祭を迎えることができ本当に良かったと心から思っているとのこと。お客さんが来てくれてありがたいし、制服向上委員会はたくさんの人から25年間愛され続けているのかなと思うと、グループに入れて良かったと杏里ちゃん。ここから、生誕25年祭をより良いものにしていくために構成した曲をお送りしていきたいということで、「2017ライブアイドルNo.1ライブ生誕25年祭スペシャル」がスタートします！始まりの定番曲『プロローグ』を吉田梢ちゃんボーカルで盛り上がります。続いて杏里ちゃんから、今日まで先輩たちが築いてきたモットーを歴代メンバーが継承して制服向上委員会の足跡を振り返ってみると多くの方々の協力なくしては実現できなかったと、感謝の気持ちを込めて「2017年生誕25年祭の宣誓」をします。宣誓に続いての曲はもちろん『制服宣言』。前リーダーの清水花梨ちゃんボーカルで披露します。『さよならは出逢いの明日へのしるし』は9代目リーダーの小川杏奈ちゃんから8代目リーダー松尾真冬ちゃんにボーカルをチェンジして披露。『黒い瞳』『地球に愛を』『時代はサーカスの象に乗って』『名もなき声に』『クルクル・ハンカチーフ』『何かのために』と名曲が披露され、途中からは美香ちゃん・星川りりかちゃんも制服姿に衣装チェンジしました(^;)



帆奈美・美香・りりか  
春香・梢・真冬・妃奈子  
美輝・杏奈・朱里・優里彩  
花梨・杏里・レイ・乃愛



現役メンバーの何倍いるのかなという OG の先輩方に囲まれて、四半世紀の歴史を制服向上委員会が迎えることが出来て、ここにいない多くの先輩たちがいたことも忘れずにこれからも現役メンバーとしてしっかり頑張っていきたいと杏里ちゃん。「応援してくれる皆さんがいるおかげで、制服向上委員会はここまで続けてくることが出来たのかなと思います」とお客さんたちへの感謝の気持ちも忘れません。ここで「生誕 25 周年公演ありがとうございました！とメンバー全員ステージをはけますが、会場では大きなアンコールが上がりメンバーが再登場。アンコールの 1 曲目は、SKi の Motto でもある『清く正しく美しく』を披露して再度盛り上がります。間奏ではメンバーのサイン入りカラーボールが客席に投げられました。続いて『天使の翼』を元祖ボーカルの真冬ちゃんが披露。『SKi のテーマ』では全メンバーが登場し、最高潮に盛り上がってライブは遂に終了。現役メンバーの若い順に感想を発表します。今年に入って月 2 でライブをしているけれどほとんどメンバー二人で、今日はいっぱい来てくれて、楽しく踊れて良かったとレイちゃん。10 人以上でライブ出来るって幸せだなと思ったと杏里ちゃん。あいかわらず汗をたくさんかいているけれど、良い思い出になったと乃愛ちゃん。SKi は名曲ばかりで、これから 30 年・50 年・100 年と続けてほしいと優里彩ちゃん。久しぶりのステージで、ステキな先輩とステージに立てて良かったと朱里ちゃん。5 年ぶりのステージで、こんなステキなメンバー・ステキなお客さんたちがいて、SKi にいたことを誇りに思うと美輝ちゃん。小学生から活動していて、入った頃に優しく教えてくれた先輩とステージに立てて夢のようでしたと花梨ちゃん。昨年の生誕祭で杏里ちゃんがリーダーになり、最初不安がっていたのが成長していて嬉しく思うと杏奈ちゃん。グループの歴史が長いので重圧かかるけれど、頼りになる先輩がいるのを忘れないで自分のペースで頑張るととエールを送ります。こんな大きなステージで踊るのが久々で、制服も久々に着て大好きな曲を歌えて嬉しかったと帆奈美ちゃん。8 年ぶりくらいに久々にステージに立ったと真冬ちゃん。OG とは久々に合っても息の揃うメンバーで「仲間が私の財産」と確認できたそうだ。四半世紀続いたのはすごいと妃奈子ちゃん。名曲だらけで SKi って良いなと実感したそうだ。メンバーが集まり、久々のお客さんともこのような空間が作れて嬉しかったとりりかちゃん。ポンポンも持って嬉しかったとのこと。生誕 25 年祭を迎えられて、呼んでくれた事務所の方に感謝していると梢ちゃん。杏里ちゃんを見て、今後の SKi も安心だなと思ったそうだ。私の全青春を捧げた SKi の仲間たちが揃って歌えることを嬉しく思うと美香ちゃん。2006 年に SKi が卒業した時、大好きな曲がたくさんある SKi がずっと残ってほしいとっていて、それから生誕 25 年祭をお祝いすることが出来て嬉しく思うし、声をかけてこれだけ多くの OG が集まってくれた絆が嬉しいとのこと。制服を着ているメンバーが多いけど全然違和感なくて、みんな若いんだなと思いつつ見ていると杏里ちゃん。いつか卒業して OG として来た時に制服が似合えるようになりたいとのこと。最後は SKi のますますの発展と皆さんのご健勝を祈り三本締めを行い、生誕 25 年祭は盛況の内に終了しました。今回ステージ以外でも物販で元 7 期生の斉木春香ちゃんがお手伝いをしてくれたほか、客席にも OG や懐かしいスタッフさん・お客さんも駆けつけてくれていて、同窓会のような生誕 25 年祭となりました。



花梨・杏奈・美輝・優里彩  
かれん・朱里・レイ・杏奈・乃愛  
春香・りりか  
梢・帆奈美・美香・真冬・妃奈子

生誕 25 年祭公演に先駆け、市民活動センタープラッツ第 5 会議室にて～アの娘やワすれてた&サッテ行ったメンバーと一緒に写真に写り、後日サイン色紙にメッセージ付きで送られてくる当分なさそうな企画です！～「2017 ア・ワ・サッテ SKi」が行われました。会場すると、奥のテーブル越しに横一列で生誕 25 年祭公演に参加するメンバーが勢揃い。久しぶりの再会を祝うどころか、就活の面接のような雰囲気にとじろぐお客さん(^^;)。参加メンバーは美香・杏里・レイに OG の梢・妃奈子・真冬・帆奈美・杏奈・花梨・美輝・朱里・優里彩・乃愛の 13 名。今回りりかちゃんも除外ということで、スタッフ役に徹します。番号順に希望メンバーの受付をして、いきなりツーショット撮影が始まります。お客さんが撮影場所に立ち、希望メンバーが横に来るという方式であつという間に終わりました(^^;)。

続いて「SKi の握手会&ツーショットポラタイム」が行われました。まずは握手会からスタート。番号順にお客さんが並び、メンバーが動いていくというスポーツ大会方式がとられます。ここでは「生誕 25 年祭の意気込み」と「どんな 25 歳になりたいか」(または 25 歳の思い出)をリサーチ。先輩のように頑張りたいと杏里ちゃん。美味しいお酒を飲んでほしいのと、大人の対応を出来るようになりたいとのこと。生誕祭は 2 回目の参加で、昨年より成長したいと良いなとレイちゃん。今より普通の人になりたいとか(^^;)。真冬さんに逢えて嬉しいので、にやけないようにしたいと乃愛ちゃん。25 歳は飲んべえになっていると思うので、清楚でいたいとのこと。息切れしないようにしたいと真冬ちゃん。25 歳で肌質が変わると言われていて、ピチピチに戻りたいとか(^^;)。頑張ります！と朱里ちゃん。フレッシュな若い 25 歳になりたいとのこと。立ち位置を間違えないようにしたいと花梨ちゃん。キャリアウーマンになりたいそう。全くリハーサルをしていないので不安と杏奈ちゃん。踊りが染みついているので自分を信じて頑張りたいとのこと。25 歳は変わらないでいたいそう。先輩に圧倒されているので、負けないようにしていきたいと優里彩ちゃん。25 歳は子供が一人いてほしいとのこと。ちなみに女の子が良いそう。5 年ぶりの参加で不安だけど、みんな忙しい合間にレッスンしたので、力を合わせて頑張りたいと美輝ちゃん。美香さんのように強くて優しい女性になりたいそう。練習の成果を出したいと梢ちゃん。楽しい社会人になりたいとか(笑)。風邪ひいたことを感じさせないくらい頑張りたいとりりかちゃん。初々しくいたいとのこと(^^)。体力消耗中だけれど、楽しみにしてきたので頑張りたいと帆奈美ちゃん。飲めなくなってきたので、もう少しお酒を飲んでおけば良かったとか。こんなに懐かしいメンバーが集まって思い出深いと美香ちゃん。17 歳の気持ちを忘れずにフレッシュでいたいそう。若いメンバーに負けないようにキレキレに踊りたいと妃奈子ちゃん。楽しく元気よく健康に…とのことでした。続いてツーショットポラ撮影会が始まります。久しぶりに大人数で行われ、長蛇の列が出来ました。「一番可愛い子！」のリクエストに率先して手を上げる帆奈美ちゃん。会場が笑顔に包まれました。



美香・りりか・真冬・妃奈子・帆奈美・梢・優里彩  
美輝・杏奈・朱里・杏里・花梨・乃愛・レイ

翌日に～生誕 25 年祭！・・・と関係ない企画～「府中づいてるから ついてる!？」が行われました。府中競馬場のパドック付近に集合。大人のスタッフだけかと思いきや、杏里ちゃんも参加しています(^;)。場内にある喫茶店の“ヒットカフェ”に移動して、中山競馬場で行われる 6 レースとメインレースを予想します。各々の用意した新聞を見ながら討論が始まります。競馬新聞ではありませんが、普段から新聞を読んでいると杏里ちゃん。でも政治系は新聞により意見が偏っているので見ないようにしているとか。「もう少し考えてから書けば？」と思うこともあるらしい。小学生後半から読んでいるけれど、当時は読めない漢字を飛ばしていたとか(^;)。人生最大の賭け事は大学選択かなあと杏里ちゃん。美大の附属高校の推薦をもらっていたけれど別のレッスンが入っていて、課題をこなすのが難しそうだと思って止めたそう。その後知らない間に SKi に入っていて(^;)、進学を止めていなかったら両立できないので契約のサインはしなかったとか。思い返すとでっかい選択しているなあと思うとのこと。元はファッション系に行きたかったけれど、今はコーディネートや小物系をデザインするのが楽しくなったそう。そんなこんなで 6 レースが発走。予想が当たって上機嫌の KAO さん。その後のポラ撮影にも笑顔で答えていました(^)。



KAO・杏里

メインレースを待たずに大國魂神社に移動。「大國魂神社参拝巡り」が行われました。ここでレイちゃんと合流。OG の古賀美雪ちゃんも参加します。先ほどまで一人で寂しかったけれど、3 人になりましたと杏里ちゃん。みんなで楽しく行きましょうと意気込みを語ります。参拝は久しぶりで楽しみにしてきたとレイちゃん。古賀ちゃんは生誕 25 年祭公演のレッスンには参加していたけれど、当日は来れなくなってしまったそう。まずは一瞬の撮影会。境内を 1 人ずつ散歩しながら 3 箇所まで撮影をして戻って来ます。古賀ちゃんはお留守番で残ったお客さんとゲームを楽しみます。いろいろ考えて来たとのことですが、説明が大変とのことと普通にしりとりになりました(^;)。一通りお散歩が終わった所で、ペアでの撮影会が行われました。その後はトークタイムが行われます。ファッションポイントは特にないと古賀ちゃん。寒いかなあと厚着してきたけれど、今日の気候では暑いそう。歩くのでスニーカーを履いてこよと思って洗ったけれど、乾かなかったとか(^;)。腕が隠れるものと杏里ちゃん。やけどの跡が残っているらしい。リュックを作っていてアイロンを掛けた後に電気を切ろうとしてジュ～とやってしまったそう。「チェス！」とレイちゃん。柄物を着るのは珍しいですね。濃いめのメイクは月蝕歌劇団の舞台でメイクをして楽しかったからとか。最後の挨拶では、1 人 1 人と鳥居まで歩いて一瞬の撮影会が出来て良かったと杏里ちゃん。いろいろな話が出来て楽しかったとレイちゃん。しりとりも出来て楽しかったと古賀ちゃん。最後に境内でポラ撮影を行います。「何か映ったらどうしよう」と呟くお客さんに、「映りません！信じません！」と耳を塞ぐ杏里ちゃんでした。大國魂神社を後にして、「生誕 25 年祭打ち上げ」が行われる清庵に移動、参拝が乾杯に変わって盛り上がりしました。



美雪・杏里・レイ

